

ルートは推測

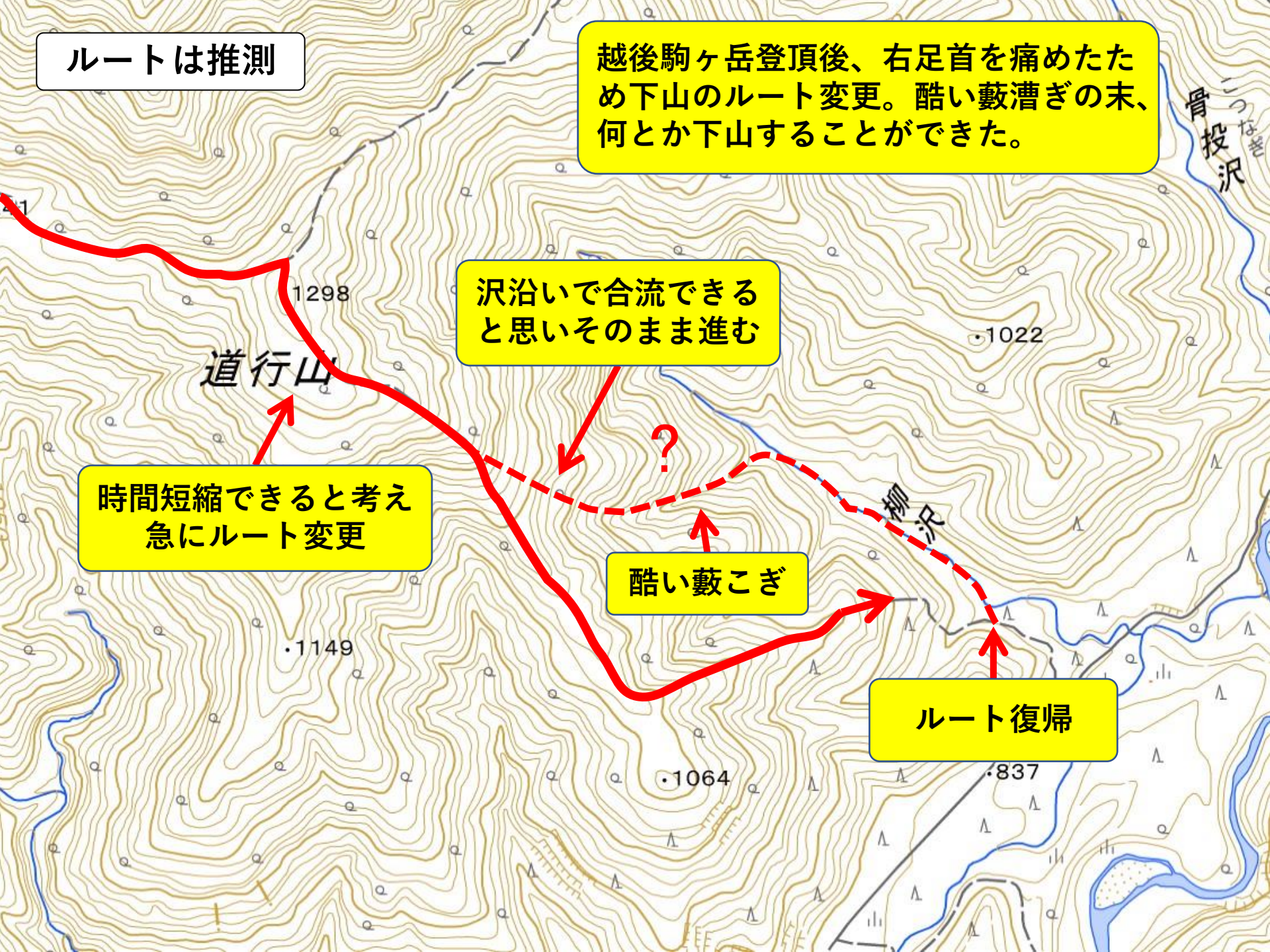
越後駒ヶ岳登頂後、右足首を痛めたため下山のルート変更。酷い藪漕ぎの末、何とか下山することができた。

沢沿いで合流できる  
と思いそのまま進む

時間短縮できると考え  
急にルート変更

酷い藪こぎ

ルート復帰





道行山から下山すると時間短縮できると考え、ルート変更。（道行山から下山は、よほどの熟練者でないと危険でした！）急傾斜の下り連続、道迷いとなる。急斜面を約3メートル滑落。ストック紛失。（追記 足痛く足元ばかり見て、ルート確認を怠ったのが、道迷いの原因）滑落した時は慌てましたが、落ち着いて我が身を確認、右足首の他は大丈夫。地図を確認。直ぐにルート復帰するより、沢沿いで合流できると考え、約100分近く藪こぎと、膝まで水に入り、転んでは水浸しになり、なんとかルート復帰できました。（HP参照）

急なルート変更で道迷いとなった事例は多い。急斜面で滑落した後「直ぐにルート復帰するより、沢沿いで合流できると考え・・・」ここですでに冷静さを失っている。ルート復帰する方が安全かつ所要時間の計算ができる。考え方に願望が芽生えている場合、冷静な判断ができていないため益々道迷いに陥って最後は遭難に至ってしまう。

そして、「根拠のない行動」は遭難への近道だと思ってほしい。行動するときは、必ず「地図の先読み」を行い根拠を持って行動しなければいけない。